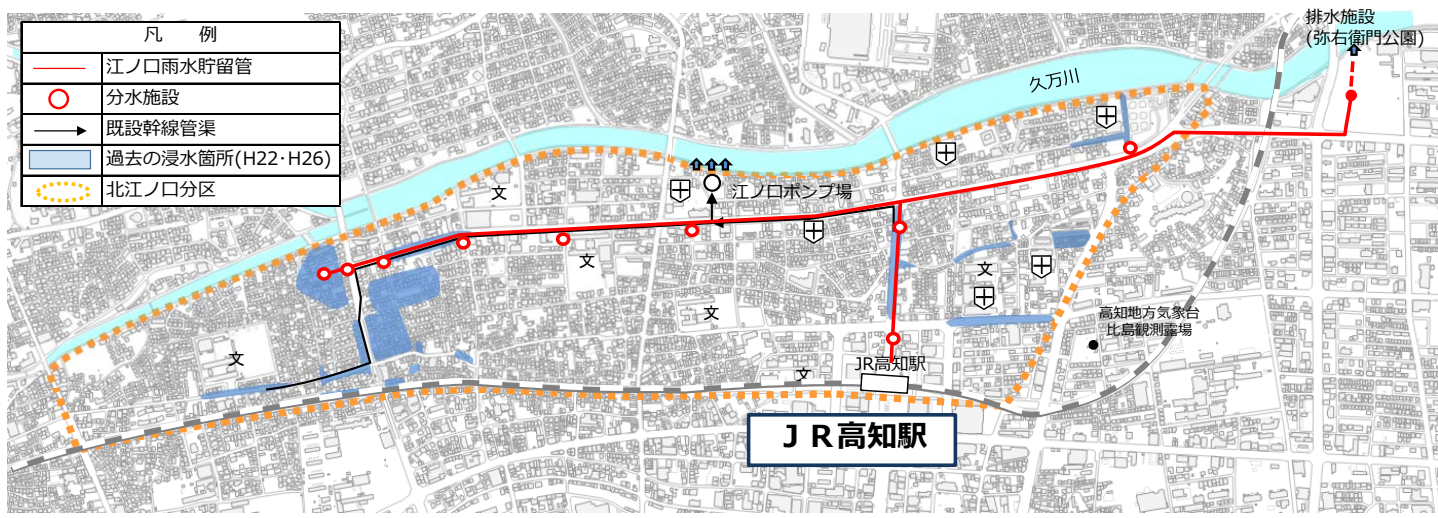


都市浸水対策の効果事例(令和2年7月豪雨)

高知県高知市

- JR高知駅や商業施設がある高知市北江ノ口地区は、かつて1時間降雨30~40mm程度で浸水被害が発生。
- 高知市は、**5年確率計画降雨77mm**に対応するため、「**江ノ口雨水貯留管(約26,400m³)**」等を整備。
- 令和2年7月豪雨(時間最大雨量69mm 総雨量951.5mm)で効果を発揮し、**浸水被害の発生を防止・軽減**。

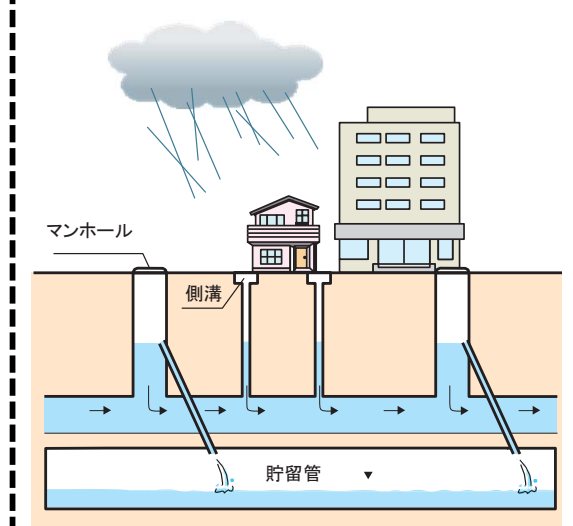
江ノ口雨水貯留管の整備効果



H26.8.3
時間最大降雨74mm/h

R2.7月豪雨
時間最大降雨69mm/h
浸水被害無し

江ノ口雨水貯留管の整備イメージ図



浸水対策の整備効果

雨水貯留管の整備により、令和2年7月豪雨では、26,400m³貯留(貯留容量の100%)し、当地区の**浸水被害の軽減に大きく寄与**。

浸水対策の整備効果

比島観測露場の降雨データ

